

入曾地区の中学校の統廃合 に関する計画（提言書） （素案）

平成25年 月

入曾地区中学校統廃合検討協議会

目 次

1	計画策定の趣旨	1
2	入曽地区の中学校の状況	1
3	学校の規模と配置の適正化の必要性	3
4	検討協議会における合意事項	3
5	統廃合後の中学校の状況	4
6	通学路	5
7	制服等	5
8	統合先中学校の環境整備	6
9	保護者等への説明と意見聴取	6
10	今後の展望	7
11	むすびに	8

資料 1	入曽地区中学校通学区域図	
資料 2	統廃合に伴う入間野中・山王中通学路改善要望	
資料 3	入間野中学校通学路（案）	
資料 4	山王中学校通学路（案）	
資料 5	入間野中学校の環境整備等に係る意見・要望	
資料 6	山王中学校の環境整備等に係る意見・要望	
資料 7	入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討経過	
資料 8	統合までのスケジュール（案）	
資料 9	入曽地区中学校統廃合検討協議会委員名簿	

1 計画策定の趣旨

狭山市教育委員会では、「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を平成19年9月に策定し、入曽地区においては、中学校1校の廃止に向けて取り組む方針を示している。

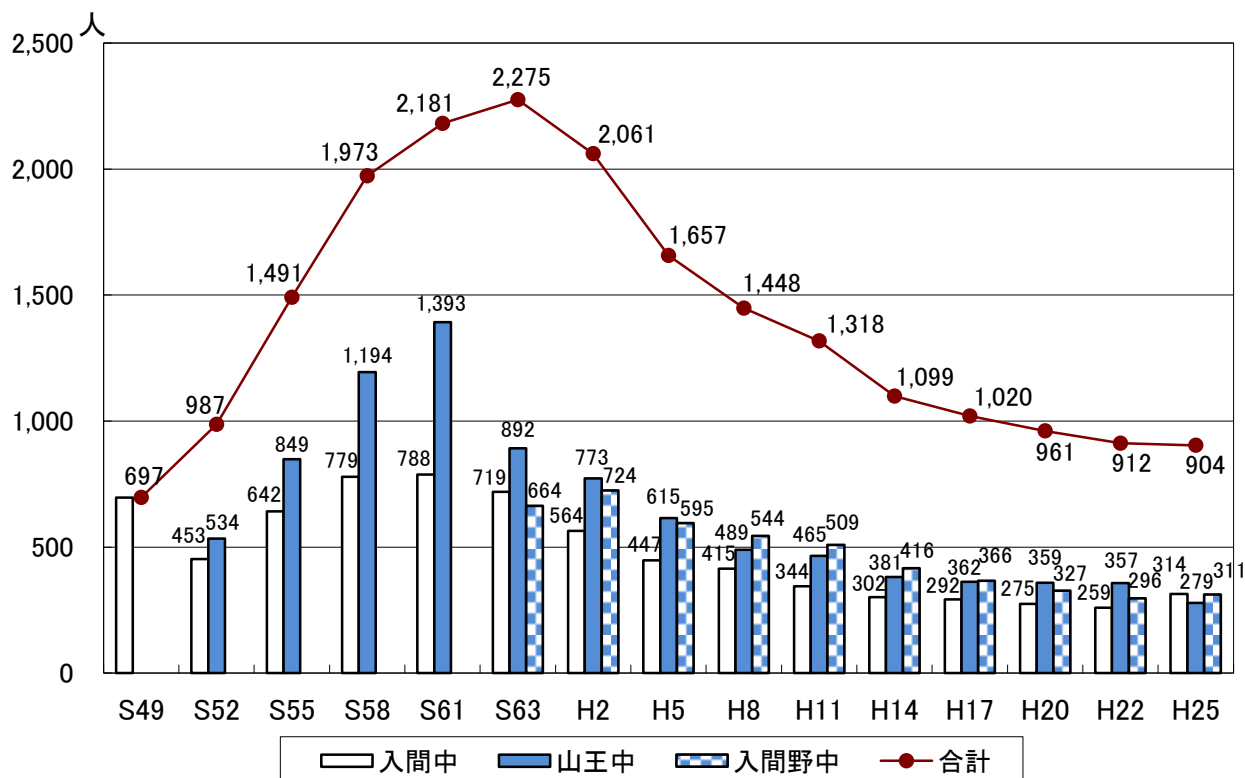
これを受けて、入曽地区では、生徒の保護者の代表、自治会長、中学校長等で組織する入曽地区中学校統廃合検討協議会を平成22年12月に設置し、統廃合の是非も含め、具体的な検討を進めてきた。

この計画は、本協議会における検討協議の結果をとりまとめたものであり、これを提言という形で、狭山市教育委員会へ提出するものである。

「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」では、統廃合の検討が必要な中学校数は、入間川地区1校、入曽地区1校、合計2校としている。

2 入曽地区の中学校の状況

入曽地区生徒数の推移



区 分	S49	S52	S55	S58	S61	S63	H2	H5	H8	H11	H14	H17	H20	H22	H25
入 間 中	697	453	642	779	788	719	564	447	415	344	302	292	275	259	314
山 王 中		534	849	1,194	1,393	892	773	615	489	465	381	362	359	357	279
入間野中						664	724	595	544	509	416	366	327	296	311
合 計	697	987	1,491	1,973	2,181	2,275	2,061	1,657	1,448	1,318	1,099	1,020	961	912	904

学級数の推移

区 分	S49	S52	S55	S58	S61	S63	H2	H5	H8	H11	H14	H17	H20	H22	H25
入 間 中	18	12	16	19	18	17	15	13	11	10	9	9	9	8	9
山 王 中		13	20	28	33	21	20	17	14	13	11	11	11	11	9
入間野中						16	19	17	15	15	12	11	10	9	9
合 計	18	25	36	47	51	54	54	47	40	38	32	31	30	28	27

入曽地区の中学校の生徒数は、昭和63年をピークに減少を続け、平成25年には、ピーク時に比べて約60%減少している。

学級数も、昭和63年をピークに減少を続け、平成25年には、ピーク時に比べて50%減少している。

生徒数・学級数の推計

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
入 間 中	314 9	317 9	327 9	320 9	316 9	315 9	303 9
山 王 中	279 (13) 9 (3)	303 (13) 10 (3)	297 (13) 10 (3)	310 (13) 10 (3)	277 (13) 9 (3)	275 (13) 9 (3)	276 (13) 9 (3)
入間野中	311 9	319 9	333 10	320 9	299 9	269 9	300 10
合 計	904 (13) 27 (3)	939 (13) 28 (3)	957 (13) 29 (3)	950 (13) 28 (3)	892 (13) 27 (3)	859 (13) 27 (3)	879 (13) 28 (3)

注1) 上段は生徒数、下段は学級数で、()内は特別支援学級で外数

注2) 学級数は、中学1年生は38人、中学2・3年生は40人で算出

入曽地区の中学校の生徒数は、平成27年を境に減少に転じ、今後の人口動向からみても、小規模校化は更に進行することが予想され、3校とも適正規模を確保することは難しい状況が予想される。

3 学校の規模と配置の適正化の必要性

小規模校に関しては、メリット・デメリットの両面あり、議論の分かれるところであるが、小規模校では、生徒の指導や学校運営の面で支障が生じる面があり、是正が求められる。

こうした状況を踏まえて、学校教育のより一層の充実を図るためには、統廃合により学校の規模と配置の適正化を図る必要がある。

「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」では、中学校の適正規模を各学年4～6学級(全学年合計12～18学級)としている。

4 検討協議会における合意事項

本協議会では、入曽地区の中学校の統廃合について具体的に検討協議を進め、次のとおり合意した。

(1) 統廃合の対象校

入曽地区の中学校の統廃合については、中学校の適正規模の視点及び建物や施設の状況等を総合的に勘案し、入間中学校を統廃合の対象とする。

(2) 通学区域の見直し

通学区域の見直しについては、「資料1」のとおり、入間中学校区内を通る西武新宿線の線路を境に、西側の区域を入間野中学校に、東側の区域を山王中学校に分散統合するとともに、併せて、入間野中学校区のうち、御狩場小学校の通学区域の部分を山王中学校区に編入する。

ただし、山王中学校区となる線路東側の区域については、入間野中学校への通学も可能とする。

また、御狩場小学校の通学区域部分に居住して入間野中学校に通学している生徒で、統合時に中学2年と中学3年になる生徒については、山王中学校に移らず、入間野中学校に在籍したまま卒業することも可能とする。

(3) 統廃合の時期

統合の時期については、平成27年4月とする。

(4) 統合先の中学校の名称

※検討を要する

(5) 統廃合の方法

※検討を要する

5 統廃合後の中学校の状況

統廃合後の生徒数・学級数の推計

区 分	H27	H28	H29	H30	H31
山 王 中	370 (13) 11 (3)	420 (13) 12 (3)	409 (13) 12 (3)	402 (13) 12 (3)	391 (13) 12 (3)
入間野中	587 16	530 14	483 13	457 13	488 13
合 計	957 (13) 27 (3)	950 (13) 26 (3)	892 (13) 25 (3)	859 (13) 25 (3)	879 (13) 25 (3)

注1) 上段は生徒数、下段は学級数で、()内は特別支援学級で外数

注2) 学級数は、中学1年生は38人、中学2・3年生は40人で算出

6 通学路

(1) 通学路の安全対策

通学区域の見直しに伴い、「資料2」のとおり、通学路に関する改善要望を提出する。

(2) 統合後の通学路

入曽地区の中学校の統廃合後の通学路に関しては、入間野中学校については「資料3」のとおり、山王中学校については「資料4」のとおりとする。ただし、今後の道路の整備状況等を踏まえ、ルートの変更に対しては、柔軟に対応することを望む。

7 制服等

(1) 制服について

※検討を要する

(2) 運動着等について

※検討を要する

(3) 部活動ユニフォームについて

※検討を要する

8 統合先中学校の環境整備

統合先中学校の施設整備等に関して、入間野中学校については「資料5」のとおり、山王中学校については「資料6」のとおり、意見要望を提出する。

9 保護者等への説明と意見聴取

入曽地区の中学校の統廃合について具体的に検討を進めるなかで、次のとおり、関係する小・中学校の児童・生徒の保護者や地域住民に対して説明会を開催するとともに、意見箱の設置やアンケートの実施により統廃合に対する理解の醸成と意見の把握を行った。

(1) 保護者に対する説明会

- ① 南小学校
平成24年 9月14日(金) 南小学校(1回目)
平成25年 4月13日(土) 入曽公民館(2回目)
- ② 御狩場小学校
平成25年 1月19日(土) 御狩場小学校(1回目)
平成25年 5月11日(土) 御狩場小学校(2回目)
- ③ 入間中学校
平成24年 6月30日(土) 入間中学校(1回目)
平成25年 5月18日(土) 入間中学校(2回目)
- ④ 入間野中学校
平成25年 月 日()
- ⑤ 山王中学校
平成25年 月 日()

(2) 住民に対する説明会

- ① 入曽地区自治会連合会
平成24年 3月17日(土) 入曽公民館
平成25年 4月20日(土) 第7区自治会館

10 今後の展望

入間中学校の統合先の山王中学校及び入間野中学校については、それぞれの学校で特色があり、入間中学校の特色との融合が重要であり、十分な調整が必要と考える。また、特色のある教育活動を継続させるため、それぞれの学校で実施している学習支援の取組については、可能な限り取り入れて実施することが望ましい。

統合先中学校の施設整備や学校運営等に関しては、「資料5」及び「資料6」の意見要望に配慮した予算確保が必要である。

統合までの準備期間に、教育に関する保護者意識調査などを実施し、保護者の意向を確認するとともに、常時公開や地域教育懇談会等の開かれた学校に向けた調整を行う。

新教育課程による学習内容の増加に伴い、学習内容の未履修が生じないように各教科の指導計画の調整を図るとともに、新たなカリキュラムの構築が必要と考える。

生徒数が増加することはもとより、これに伴い、教員数も増員するため、それぞれの中学校で実施してきた部活動の設置を最優先に考えたうえで、可能な範囲で部活動の増設を図り、生徒の選択の幅を広げ、部活動が充実することを望む。

各学年の校外活動、林間学校、修学旅行については、準備期間に十分な調整を図ることを望む。

統合については、当事者の精神的な負担を考慮し、事前に交流を図ることや、教員の配置に配慮し、臨時教員の採用、さやまっ子相談支援員の増員などを行うことが必要である。

11 むすびに

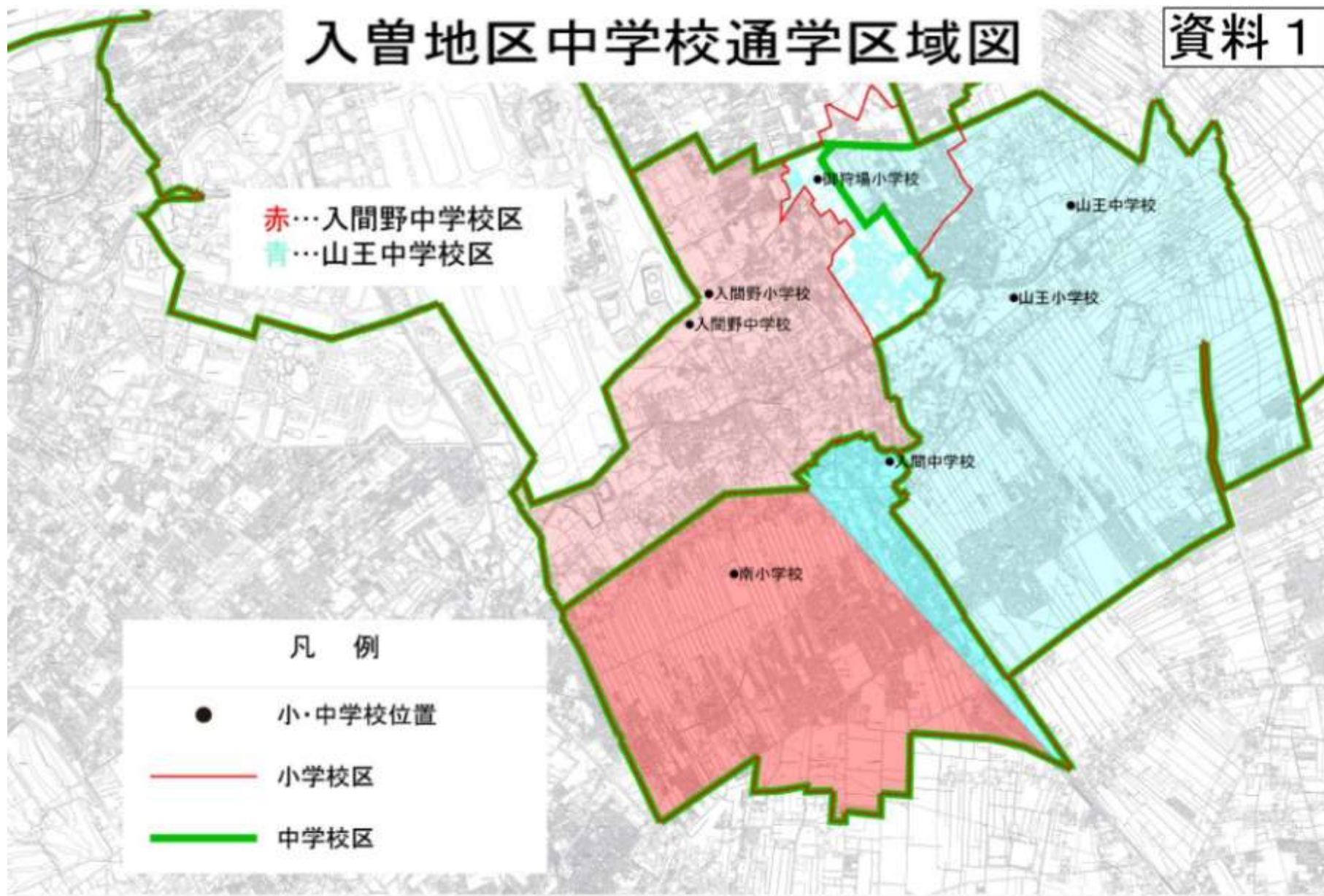
・・・・・・・・・・。

平成25年 月

入曾地区中学校統廃合検討協議会
会 長

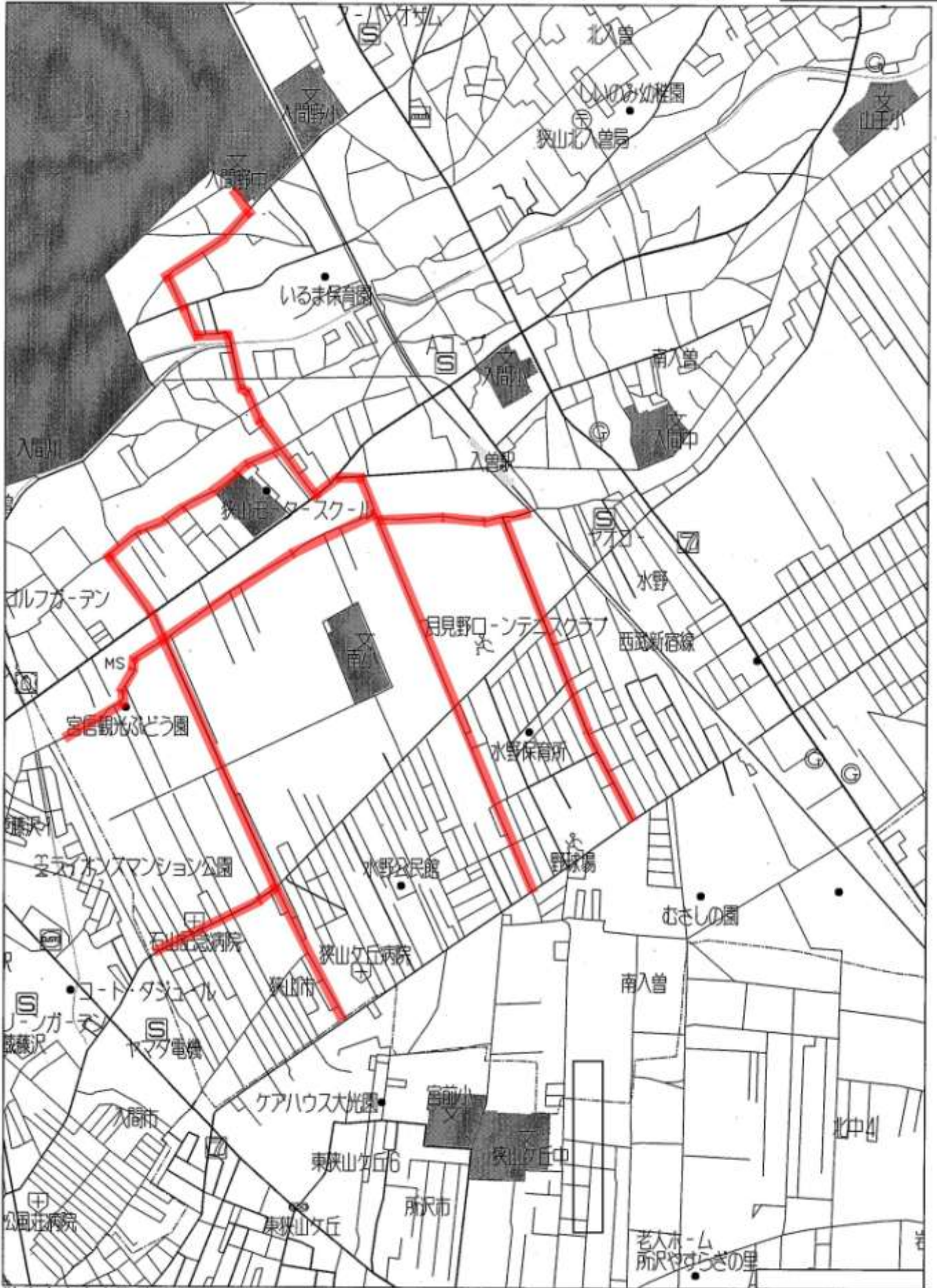
入曾地区中学校通学区域图

資料 1



入間野中学校通学路（案）

資料 3

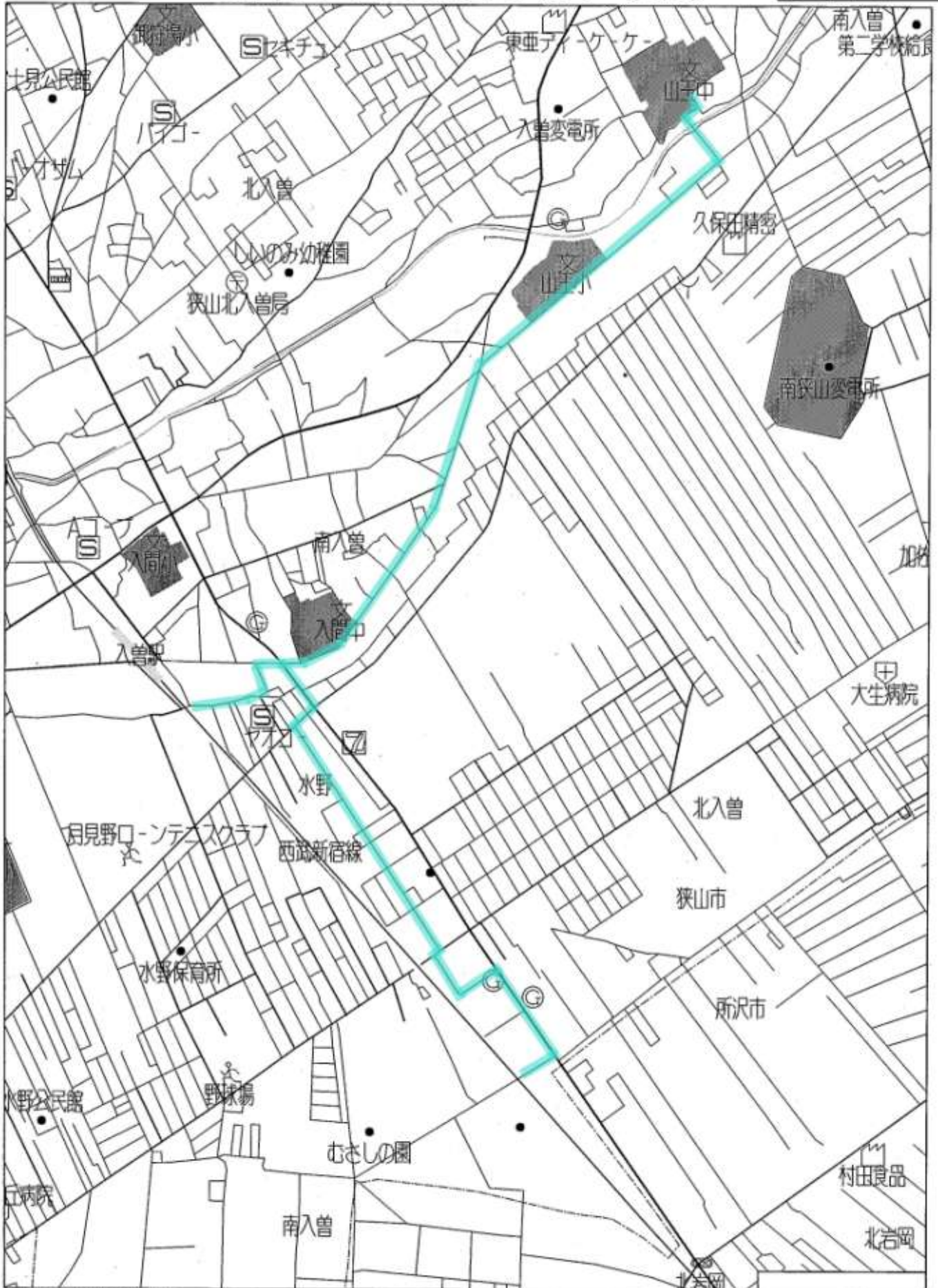


狭山市大字水野付近

縮尺 1 / 12,000 360m

山王中学校通学路（案）

資料 4



狭山市大字水野付近

縮尺 1 / 11,000 330m

統 合 ま で の ス ケ ジ ュ ー ル (案)

年度・月 項 目		平成25年度											平成26年度											27		
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
協議会	統廃合計画(提言書)のとりまとめ	→																								
	上記を提言書を教育委員会に提出	■																								
保護者・関係者	各種アンケートの実施	→																								
	制服の検討	→																								
	通学路の検討	→																								
	特別許可地区の意向把握	(事前) →											→													
	説明会の実施	→																								
学 校	3校の調整会議 ・定期的に開催し、学校間の調整を図る	→																								
	各種準備委員会の設置	→																								
	施設整備の確認	→																								
	閉校式の準備												→													
教 育 委 員 会	統廃合計画の策定	→																								
	統廃合計画の決定												→													
	次年度予算編成	→																								
	学校設置条例改正の議会上程												→													
	上記の議決												■													
	関係規則等の改正												→													
	通学路の整備												→													
	山王中・入間野中の改修												→													